

平成26年度事業計画

I 事業方針

当センターは、県、市町村、関係団体の出捐により、平成元年5月に財団法人として設立され、平成23年4月から公益財団法人へ移行しました。

設立以来、地域社会において実践活動を行う賛助会員を有する全国唯一の「明るい長寿社会づくり推進機構」として、県内高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を推進し、健康長寿県づくりの一翼を担ってきました。

今では人生90年時代を迎え、シニア世代の生き方や価値観が変化しており、また、急激な超高齢社会の進行、人口減少化の中で、地域社会において、高齢者自らが地域の一員として地域の役割を担い、地域社会を支えていくことが求められるなど、高齢者を取り巻く環境や社会的ニーズが設立当時と大きく変わっています。

このため、今後のセンターのあるべき方向性について検討することを目的とし、外部の有識者による「センター事業のあり方等に関するワーキンググループ」を平成25年6月に設置し、複数回に亘り議論を重ねて、12月に提言を受けたところです。

また、県では、「しあわせ信州創造プラン」に基づき、「人生二毛作推進県民会議」を設置して、高齢者の積極的な社会参加を促す仕組みづくりを検討しております。この県民会議では、当センターに新たに高齢者の社会参加を促進するためにコーディネーターを配置して、高齢者に係る事業を実施する様々な機関と連携して取り組むことが必要であると全会一致で議決をされました。

ワーキンググループからの提言及び人生二毛作推進県民会議の議決を真摯に受け止め、県の総合5か年計画で目指している「誰にも居場所と出番がある社会づくり」の理念を尊重し、予算の策定にあたっては、次の事項に意を用いるとともに、的確かつ迅速な執行に努めます。

□ 「人生90年時代」を前提とした県民の意識づくりを進めます

情報誌やホームページを活用した情報発信及びタウンミーティングの開催等により、高齢者の社会参加に対する県民の意識づくりを進めます。

□ 高齢者の活動の場づくりを促進する仕組みを構築し、「居場所と出番がある長寿社会」の形成を目指します

高齢者を必要とする「活動」と「人材」をマッチングするコーディネーターを配置することにより、高齢者の「居場所」と「出番」を拡大し、社会参加等の促進を進めます。

□ 高齢者の社会参加意欲の醸成と社会参加活動への支援を行います

シニア大学では、一層の社会参加活動につなげるため実践講座を体系的に行います。

また、様々な地域課題に向き合って解決するスキルを持った高齢者のリーダーやリーダーとともに活動できる人材を養成するため、「シニアリーダー等養成の場」の設置に向けて検討を行います。

さらに、「いきいき中高年社会貢献活動支援事業」等により、高齢者の社会参加活動に対し積極的に支援します。

□ 高齢者の仲間づくり及び健康で活躍できる社会づくりを進めます

信州ねんりんピックの開催等、県民参加の場を提供することにより、高齢者の生きがいと健康づくりを推進します。

□ 地区賛助会への協力・支援を行うとともに、賛助会員の加入促進と活動支援を進めます

地区賛助会への助言、交付金の拡充による運営の支援や賛助会員グループへの活動費助成など会員の活動支援を行うとともに、シニア大学学生へのPR等により賛助会員の加入促進に努めます。

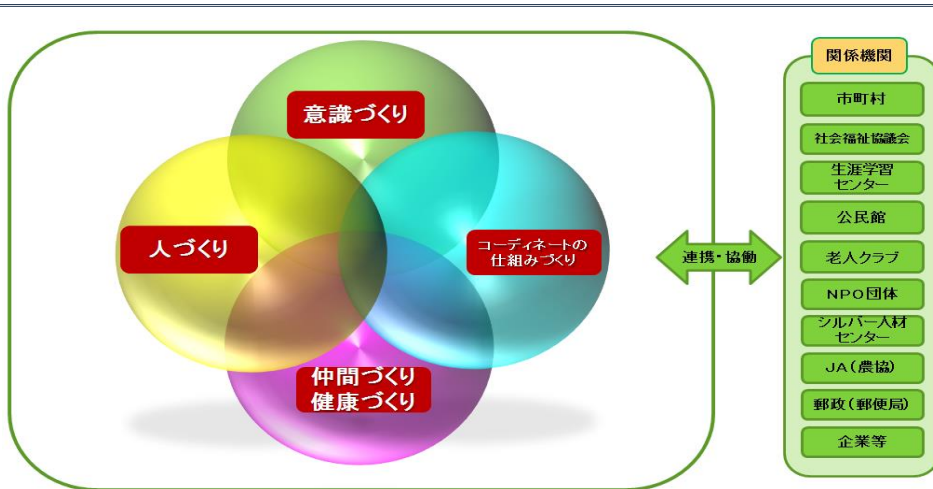
□ 財団運営の一層の健全化に努めます

基本財産運用収入や賛助会費、広告料収入等財団の自主財源の確保に努めるとともに既存事業の内容を見直し、財団運営の一層の健全化を目指します。

Ⅱ 事業体系

(公) : 公益目的事業

(共) : 共益事業



誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現

意識づくり

- 情報提供事業
 - ・(公) 情報誌発行事業
 - ・(公) 広報事業
- 啓発普及事業
 - ・(共) 広報啓発事業
 - ・(共) ホームページ運営事業
 - ・(共) 表彰事業
- 活動推進事業
 - ・(公) センター支部活動事業
 - ・(公) いきいき中高年社会貢献活動支援事業
 - ・(公) 高齢者地域活動会議運営事業

人づくり

- 人材育成事業
 - ・(公) 長野県シニア大学運営事業
 - ・(公) シニアリーダー等養成の場 開設検討事業

仲間づくり・健康づくり

- 推進事業
 - ・(公) 信州ねんりんピック開催事業
 - ・(公) 全国健康福祉祭選手派遣事業
- 活動推進事業
 - ・(共) 賛助会員募集・活動推進事業
 - ・(共) 地区賛助会運営費交付事業
 - ・(共) 地区賛助会連絡協議会運営事業
 - ・(共) 賛助会員グループ活動支援事業

コーディネートの仕組みづくり

- 活動推進事業
 - ・(公) 高齢者社会参加促進事業

Ⅲ 実施事業

1 意識づくり

(1) 情報提供事業

① 情報誌発行事業（予算額 7,756千円）

情報誌「信州りらく」を発行して、高齢者に関する文化活動や社会参加活動等に関する情報を広く発信し、新しい時代における生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図るとともに、さらなる情報発信を目指します。

また、センターの新たな方向性に対応するため、情報誌のあり方について検討を行います。

- ▶ 発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）
- ▶ 発行部数 5,650部
- ▶ 配布先 市町村、図書館、公民館、公的病院、賛助会員等
- ▶ 支部通信員の設置（30人）

地域で活躍する高齢者の情報を収集するため、支部通信員（活動サポーター）を設置し、地域の声を反映させます。

② 広報啓発事業（予算額681千円）

報道機関等への行事等の情報提供を積極的に行い、高齢者の生きがい・健康づくり及び社会参加を啓発、推進するとともに、センターの役割や事業体系・内容等について広く県民や関連する多様な機関・団体等に周知するため、新たにパンフレットを作成します。また、賛助会員加入案内パンフレットを作成し、加入促進を図ります。

(2) 啓発普及事業

① ホームページ運営事業（予算額 30千円）

センターホームページに各種イベント案内、事業等の募集案内や地区賛助会会報等を掲載することに加え、動画による発信を行う等、多くの方に随時情報が届くよう情報発信に努め、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼びかけます。

② 表彰事業（予算額 55千円）

センターが推進する生きがいと健康づくり活動、社会参加活動等の賛助会員活動を広めるとともに、活動振興において功績のあった個人及び団体に対し、表彰状または感謝状を贈呈し、功績をたたえます。

(3) 活動推進事業

① センター支部活動事業（予算額 950千円）

明るく豊かな長寿社会づくりを推進することを目的として、センター支部の自主的な活動を促進するため、次のとおり実施します。

ア 一般事業

管内の高齢者を対象に生きがい・健康づくりや社会参加につながる事業を実施します。

- ▶ 限度額 1事業あたりセンター負担5万円

イ 信州ねんりんピック参加促進事業

管内高齢者の信州ねんりんピックへの参加を促進することを目的に実施します。

- ▶ 限度額 1支部あたりセンター負担5万円

② いきいき中高年社会貢献活動支援事業（予算額 1,331千円）

中高年者が経験や知識を生かして地域づくり、社会貢献をしようとする事業に対し助成し、中高年者の地域社会への関わりを深め、居場所と出番がある長寿社会の形成を促進します。

今年度は、助成を通じてより積極的な社会参加活動の推進を図るため、予算額を拡充します。

- ▶ 助成額 助成対象事業費の2/3以内で、1年目は20万円、2年目は15万円、3年目は10万円を限度とします。

③ 高齢者地域活動会議運営事業（予算額 1,000千円）

センターが進める元気高齢者施策を関係機関団体との連携と協働により推進するため各支部に設置されている「高齢者地域活動会議」を有効に活用して、県下各地域でタウンミーティングを開催する等、県と連携して、高齢者の社会参加活動促進のための取り組みを推進します。

2 人づくり

人材育成事業

（1）長野県シニア大学運営事業（予算額 22,100千円）

高齢者の仲間づくりと知識の涵養を高め、生きがいと健康づくりとともに、積極的に地域の活動に参加する者を養成します。シニア大学運営委員会が定めた「シニア大学のカリキュラム編成について」に基づき、シニア大学生を社会参加活動に繋げていくためのカリキュラムを体系的に構築します。

また、カリキュラムの編成を担う社会活動推進員の講座運営能力向上のための諸研修を実施し講座の充実を図ります。

さらに、シニア大学を広くPRし、定員の確保を図ります。

- ▶ 定員 2,600人（1学年1,300人、2学年1,300人）
- ▶ 修業年限 2年
- ▶ 学習時間等 年60時間（4時間×15日）
 - （1学年 教養講座24時間、実技講座20時間、実践講座16時間）
 - （2学年 教養講座16時間、実技講座20時間、実践講座24時間）
- ▶ 授業料 1人年額8,500円

（2）シニアリーダー等養成の場 開設検討事業（予算額 500千円）

様々な地域課題に向き合って解決するスキルを持った高齢者のリーダーやリーダーとともに活動できる人材を養成するため、地域の課題等に関する専門的な知識を習得する新たな学びの場を設置するための検討を行います。

3 仲間づくり・健康づくり

（1）推進事業

① 信州ねんりんピック開催事業（予算額 5,090千円）

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがい・健康づくりや社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術・スポーツの祭典を開催します。今年度は、社会参加活動実践者等によるパネルディスカッションを行い、人生二毛作社会の実現及び高齢者の社会参加意欲の醸成を図ります。

ア 文化・芸術交流大会

(ア) 式典、パネルディスカッション、ステージ発表

- ▶ 開催期日 平成26年9月6日(土)
- ▶ 会場 小諸市文化会館

(イ) 囲碁・将棋大会

- ▶ 開催期日 平成26年9月6日(土)
- ▶ 会場 小諸市公民館ほか

(ウ) 高齢者作品展

- ▶ 開催期日 平成26年9月5日(金)～7日(日)
- ▶ 会場 小諸市乙女湖体育館ほか
- ▶ 内容 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の作品展示

イ スポーツ交流大会

- ▶ 開催期日 平成26年9月20日(土)
- ▶ 会場 小諸市南城公園ほか
- ▶ 内容 ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ等10種目

② 全国健康福祉祭選手派遣事業(予算額 4,656千円)

高齢者の生きがいと健康づくりを目指す、第27回全国健康福祉祭とちぎ大会「ねんりんピック栃木2014」へ選手を派遣します。

- ▶ 開催期日 平成26年10月4日(土)～7日(火)
- ▶ 開催場所 栃木県
- ▶ 選手団派遣予定人員 19種目 140人
- ▶ 選考大会の後援

各競技団体が開催する全国健康福祉祭参加選手選考大会を後援し、多くの高齢者の参加を呼びかけます。

(2) 活動推進事業

① 賛助会員募集・活動推進事業(予算額 2,163千円)

賛助会員の募集について、加入促進キャンペーンとして、今年度から3年間、入会金を免除し、一層の加入促進を図ります。

また、「活動サポーター」と連携し、賛助会員活動の啓発や加入促進を積極的に進めるとともに、サポーターの資質向上及び情報交換のための研修会を開催します。

ア 会員の加入促進

- ▶ 地区賛助会と連携して賛助会員の加入促進に取り組みます。
- ▶ 会員特典(情報誌「信州りらく」の配布、割引協力店での割引サービスの利用、グループ活動経費に対する助成、法人会員のセンターホームページ広告料の割引及び情報誌「信州りらく」・ホームページでの紹介)を実施します。

イ 活動サポーター研修

委嘱した活動サポーターの資質向上、地域活動推進、会員募集の強化等を推進するために研修会を実施します。

ウ 割引協力店の充実

- ▶ 賛助会員が利用できる割引協力店の拡大を図ります。

《参考》 平成25年12月末現在の賛助会員数等

- 賛助会員数 個人 3,832人 / 法人 73団体
- 活動グループ数 239 グループ
- 割引協力店 304 店(施設)

※「割引協力店」⇒美術館、温泉施設、旅行会社等の指定店で割引が受けられる制度

② 地区賛助会運営費交付事業（予算額 1,985千円）

地区賛助会の活動運営を行うために必要な経費を交付し、自主的な活動を推進します。

また、地区賛助会活動の更なる充実を図るため、交付金額を拡充します。

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業（予算額 169千円）

賛助会員代表（20人）と支部事務局長により構成される連絡協議会で社会参加活動の推進策等について協議・意見交換を行うとともに、地区賛助会活動の連絡調整を図ります。

④ 賛助会員グループ活動支援事業（予算額 3,495千円）

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部をグループに助成します。

▶ 助成額

- ア 賛助会員A会員数1人当たり1,000円（1会員1グループに限る）
- イ 社会貢献活動加算：賛助会員A会員数1人当たり300円
社会貢献活動を年間5回以上行うグループ

4 コーディネートの仕組みづくり

高齢者社会参加促進事業（予算額 15,171千円）

高齢者の社会参加のニーズと地域社会のニーズに関する情報を一元的に提供する「シニア活動推進コーディネーター」を設置し、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係団体と連携体制（プラットフォーム）を構築し、情報共有を図ることを通じて、高齢者と地域社会のニーズのマッチングを行い、高齢者の社会参加を支援します。

5 財団運営

理事会、評議員会、地区賛助会連絡協議会など、財団運営に必要な会議を開催し、適正な財団運営を行います。

- ▶ 理事会 5月、3月
- ▶ 評議員会 6月、3月
- ▶ 地区賛助会連絡協議会（正副会長会議を含む。） 6月、12月
- ▶ 支部事務局次長、推進員等会議 4月、12月